

# 真声会 会報

第 45 号

2007年12月1日  
発行

発行所  
京都市立芸術大学音楽学部同窓会  
**真声会**  
〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13番地の6  
京都市立芸術大学音楽学部内  
TEL (075) 334-2222

## 私たち真声会の存在意義

真声会 会長 大村 益雄 (1期 作曲)



真声会は、今年、52期の卒業生を迎え、すでに半世紀を超える歴史を持つことになりました。戦後まもなく、当時の占領軍（GHQ）の許可を得て、堀川高校音楽コースが生まれ、その後、京都に公立の市立音楽大学（発足当初は短期大学）が設立されました。林龍作教授（ヴァイオリン、1887-1960）、斎藤秀雄教授（指揮、1902-1974）、伊藤武雄教授（声楽、1905-1985）、安部幸明教授（作曲、1911-2006）、豊増昇教授（ピアノ、1912-1975）、など、錚々たる教授陣が迎えられ、授業内容が大いに期待されたこともあって、第1期の入学生は、当時の堀川高校音楽コース（現、京都市立音楽高校）卒業生、音楽コース卒業後2年間の専攻科を修了された方、また総合大学を卒業されてから再度、市立音楽大学に入学された方、さらには他の大学を卒業し、社会活動をされてから入学された方、など、すべて音大では同学年でしたが、社会経験、年齢層など、多岐に亘り変化に富む学生として、共に音楽を学びました。最も高齢の先輩は、現在80歳代で、なお社会的に広く活躍をされております。

学生中の思い出深い授業の一つとして、斎藤秀雄教授の講座がありました。ピアノ科の学生、または、弦楽科の学生を一人選び、今、練習している曲を弾かせて、色々な演奏の仕方、表現の仕方、曲の解釈の仕方を実際にやらせてみせるというものでした。その当時、実技を指導している先生には、自分流儀の曲の解釈を教えるという風潮があったため、斎藤教授の、システマチックで、しかも、学生自身が考え出さねばならないような曲の解釈法や表現法を、けむたく思った先生もあったようです。しかし、これを受講した学生が、音楽表現の在り方について多くのことを学んだことは間違いありません。もちろん50年以上前の話ですから、今は、もっと違った形で、自己個性表現のための授業が行われていると思います。だからこそ、優れた卒業生が数多く輩出されているわけで、今後の動向にも大きな関心を寄せております。

さて、真声会活動の基本は次の3つだと思っています。

- 1) 先輩は後輩のために、後輩は先輩のために、音楽活動面でお互いに良い刺激を与える。
- 2) 京芸卒業生（真声会会員）は、協力して社会に働きかけ、自らのアピールと共に京芸の認知度を高める。
- 3) 卒業生は、母校京芸の更なる発展のために協力する。

そのため、真声会の運営は、皆の意見が這入りやすいシステム（運営組織）にして、各自の分担を決め、実行可能なものはそれぞれが責任を持って実施することが必要です。

具体的には一、本部理事会で、基本運営の方向を明確にする。各支部活動の基盤を充実する。年度委員の組織を活性化する。母校京芸および音楽学部の将来ビジョンを会員に知らしめ、そのビジョンの実現に協力する。などです。

真声会本部は、今年度、新たな役員に入れ替わりしました。20歳代から80歳代までの広い層に及ぶ音楽学部卒業生の交流を密にし、母校京芸との連携を深めて、同窓会としての「真声会」の存在意義を高めるべく力を尽くしていきたいと思っています。



さる11月8日(木)午後5時より約2時間にわたり、真声会と音楽学部との会合がもたれました。

出席者は大村益雄(1期作曲)真声会会長、呉信一(京都芸大音楽学部長、朴实(12期作曲)京都芸大音楽教育研究会京都子どもの音楽教室運営副委員長、阪田誠康(16期ピアノ)真声会京都支部長、神元哲郎(京都芸大教務課長)です。場所は元有済小学校をお借りしました。

双方の一層の発展のための相互コミュニケーションの大切さを確かめ合うことができました。

[中村典子(32期作曲):記]

## ご挨拶

大谷 正和 (32期 ピアノ)



この度真声会の副会長、及び運営委員長を務めさせていただくことになりました大谷正和です。私は数年前にも役員をさせていただく機会がありましたが、世代を越えての交流から生まれる連帯感こそが同窓会の醍醐味だと感じています。同じ京都市立芸術大学で学んだ事に誇りを持ち、「真声会会員で良かった」と思えるような同窓会運営のお手伝いできればと思っています。ただ一方で、会員の皆様からお預かりしている会費の使途等、難しい問題を多く抱えている現状も見逃すわけにはいきません。皆様の忌憚のないご意見を頂戴しながら、役員一同魅力ある「真声会」にしていきたいと思っておりますので、ご支援ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

## 真声会の役員に選ばれて

佐々木 研 (10期 打楽器)



卒業して40年余。今はこれといった仕事もなく、時間のゆとりができました。そこで長年お世話になった真声会に何かお手伝いをしようと顔を出したところ、いきなり副会長に選ばれとまどっています。また、会誌の編集委員長を兼任ということで、これまでの無関心さを後悔しております。

さて、皆様に少しでも読んでいただける会誌を目指して、会員相互の情報を密にすることや、本会の課題や方向などお知らせできればと考えています。4年という長い任期ですが、皆様のご協力を得て務めたいと思っておりますので、よろしく願い致します。

# 2007年度真声会総会報告

今年度真声会総会は、2007年7月22日(土)午後3時より、からすま京都ホテルで開催されました。有効委任状及び出席者の総計が369名で、総会は成立しました。

総会の内容は次の通りです。

- ・司会 運営委員長 奥 道子(9期 声楽)
  - ・挨拶 会長 藤井 園子(8期 作曲)
  - ・議長選出 佐々木 研(10期 打楽器)
  - ・審議事項
  - 1. 2005・2006年度 事業報告 奥 道子
  - 2. 会計報告 会計 宮下 薫(41期 ピアノ)
  - 3. 監査報告 会計監査 三森 尚子(26期 ピアノ)
  - 4. 2007・2008年度 予算案審議 金森 重裕(6期 クラリネット)
  - 5. 次期役員選出選挙報告 奥 道子
  - 6. その他
- (内容については別項参照のこと)  
以上6項目について可決または承認されました。



総会終了後、元演習子名譽教授(ピアノ)、増井信貴教授(指揮)を囲んでなごやかに懇親パーティーを行いました。増井先生からは、京都芸大と真声会のよき関係について貴重なご意見をいただきました。

## 京都市立芸術大学音楽学部同窓会「真声会」

### 2006年度 会計報告 (2005年4月1日～2006年3月31日)

収 入			支 出		
内容	内訳金額	合計金額	内容	内訳金額	合計金額
前年度繰越金		23,494,293	役員会		
今年度会費納入			運営委員会・理事会		
入会金(74名)	1,080,000		会議費	80,001	
会費	2,611,000	3,691,000	交通費	67,360	
受取利息			年度委員会		
郵便定期貯金満期	—		会議費	94,457	241,818
郵便貯金	128		会報		
銀行預金	5,468	5,596	印刷発送委託費	1,411,637	
雑収入		1,000	編集事務費	69,675	1,481,312
			事務費		
			通信費	37,395	
			事務消耗品費	12,752	50,147
			備品購入費	0	0
			人件費		
			芸大事務委託費	50,000	
			本部事務人件費	36,860	86,860
			援助金		
			支部援助金	748,720	
			京都芸大学生演奏旅行関係	50,315	
			コール真声会	26,240	
			「京都国際会議2006」へ	500,420	1,325,695
			新春京都音楽文化人の集い出席		0
			京都市芸術文化協会年会費		10,100
			慶弔費		0
			入会金二重払い分払い戻し		60,000
			会費引落し分払い戻し		9,210
			銀行手数料(南都銀行)		103,530
			今年度支出合計		3,368,672
			次期繰越金		
			郵便貯金及び銀行預金	23,658,202	
			現金	165,015	23,823,217
総 計		27,191,889	総 計		27,191,889

### 財 産 目 録

種類	残高	品目	購入	価格
郵便定期貯金	4,934,000	マッキントッシュ/iBook 一式	1999年11月/2台	501,480
郵便貯金総合通帳	2,487,268	キャノン/BJ-F210	2000年5月	17,640
郵便振替口座	2,666,000	NEC VALUESTAR 一式	2004年3月	
南都銀行定期預金	1,007,813	NEC Lavie 一式	2004年3月	464,646
南都銀行普通預金	7,405,110	エプソン/LP-6100	2004年3月	
三井住友銀行定期預金	2,016,224	NEC VALUESTAR 備品	2004年3月	
三井住友銀行普通預金	3,141,787	NEC Lavie 一式	2004年11月	155,980

2006年度「真声会」収支決算報告については、以上のとおりです。

2007年6月9日  
 会計 宮下 薫 (印) 会計 三森 尚子 (印)  
 以上の報告に相違ないことを認めます。  
 会計監査 金森 重裕 (印) 会計監査 藤井 誠 (印)

### 2007年度役員一覧

(任期は2011年度6月まで、各支部長除く)

- 会 長 大村 益雄(1期 作曲)
- 副会長(編集委員長) 佐々木 研(10期 打楽器)
- 副会長(運営委員長) 大谷 正和(32期 ピアノ)
- 理 事 小川 隆宏(5期 ピアノ)
- 理 事 松本真理子(15期 打楽器)
- 理 事 村上 哲(33期 ホルン)
- 理 事 西口 勝(36期 コントラバス)
- 運 営 委 員 土居 知子(35期 ピアノ)
- 会 計 山本 千壽(17期 ピアノ)
- 会 計 菊田 義典(42期 声楽)
- 会 計 監 査 阪田 誠康(16期 ピアノ)
- 会 計 監 査 山本 毅(24期 打楽器)
- 編 集 寒川 正晴(30期 ホルン)
- 編 集 中村 典子(32期 作曲)
- 編 集 奥田 聖子(48期 声楽)

- 大阪支部長 大村 益雄(1期 作曲)
- 岡山支部長 下山 忠良(3期 打楽器)
- 関東支部長 島津与外次(5期 声楽)
- 兵庫支部長 田淵 幸三(14期 声楽)
- 京都支部長 阪田 誠康(16期 ピアノ)
- 奈良支部長 三村 光子(4期 ピアノ)
- 滋賀支部長 杉中 博(19期 トランペット)



### 災害たすけあい募金 特別会計収支報告

(2006年4月1日～2007年3月31日)

収 入			支 出		
内容	内訳金額	合計金額	内容	内訳金額	合計金額
郵便振替口座			寄付		
00910-2-244176より		320,270	(財)阪神・淡路大震災復興基金へ		320,270
総計		320,270	総計		320,370

2006年度「真声会」収支決算報告については、以上のとおりです。 2007年6月9日

会計 宮下 薫 (印) 会計 三森 尚子 (印)  
 以上の報告に相違ないことを認めます。  
 会計監査 金森 重裕 (印) 会計監査 藤井 誠 (印)

### 災害たすけあい募金について

昨秋、郵政公社より口座閉鎖の案内が届きました。それにより阪神・淡路大震災時に会員の皆様よりいただいた寄付金の一部が口座に残されたままになっていたことがわかりました。当時の運営委員会の役員からの引き継ぎ事項としての連絡もなく、会計報告に載せられていなかったため、ここ数年、新しく役員になった者には知る由もない存在でした。寄付して下さった皆様のお気持ちを考えると、このまま放置するのは良くないと考え、残金を全額引き落としして口座を解約し、2007年3月29日、下記の通り「阪神・淡路大震災復興基金」に寄付させていただきました。ご協力いただいた皆様に感謝致しますと共に、今回の件につきましてどうかご了承いただきますよう、お願い申し上げます。

記

寄付金額 ￥320,270-  
 寄付先 財団法人 阪神・淡路大震災復興基金  
 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1 兵庫県庁内  
 Tel 078-362-4422 Fax 075-362-4457



京都市立芸術大学音楽学部同窓会「真声会」2007年度 予算案

Table with columns: 内容, 2005年度 決算, 2006年度 予算, 2006年度 決算, 2007年度 予算(案). Rows include 総会, 役員会, 会報, 名簿, 事務費, 援助金, 準備金, etc.

Table with columns: 内容, 2005年度 決算, 2006年度 予算, 2006年度 決算, 2007年度 予算(案). Rows include 会費納入, 受取利息, 総会パーティー費, etc.

※ 前回の予算案の会費欄は、¥3,214,000-となっておりますが、これは入力ミスであり会計報告・収入欄の「会費」にある通り、¥3,264,000-が正しい金額となります。

Table titled '会費納入内訳' with columns: 2004年度, 2005年度, 2006年度. Rows include 郵便振替, 終身会費, 年会費, etc.

真声会 各支部活動報告

滋賀支部

2007年度は新たに6名の会員を迎えることができました。10月7日(日)には第19回滋賀支部演奏会「湖のしらべ」を大津市浜大津のしがぎんホールで開催しました。井出智子さん(21期)、森下洋子さん(21期)のピアノ連弾 中田喜直「四手連弾の為の組曲 日本の四季」に始まり、新人の速水優さん(52期)の独唱(ピアノ伴奏 宮崎真理子さん(52期)) ドリーブ「オペラ ラクメより鐘の歌」他、クラリネット山内志織さん(48期)、ファゴット大角多佳子さん(48期)、ピアノ石原由佳子さん(48期)でR. シュトラウス「二重コンチェルティーノ」、休憩を挟み小松千加子さん(3期)による独唱(ピアノ伴奏 友定三香さん) 八州秀章「さくら貝の歌」他、上田明美さん(44期)、塩見亮さんによるピアノ連弾 シャブリエ「気紛れなブルーレ」等を演奏していただきました。幅広い層から出演いただき変化に富んだ演奏会となりました。最後に恒例の出演者全員による演奏は、日向宣広さん(39期作曲)編曲で「千の風になって」をとり上げました。さて来年は第20回という事で、より多くの会員にかかわっていただきながら、記念となるような楽しいステージが作れればと思っています。会員の皆様のますますの活躍を祈念し、活動の報告とさせていただきます。支部長 杉中 博(19期トランペット)

関東支部

関東支部は、ゆるやかな会員相互のつながりを大事に活動をしています。5月31日銀座キハチにて総会および懇親会を和やかに開催し、今年度もスタートしました。前回ご紹介したピアノ科卒業生による新しいユニット「ピアノアンサンブルdoux」の旗揚げ公演も、6月24日スタインウェイサロン東京・松尾ホールにて、たくさんの方に支えていただき盛況のうちに終わることができました。この秋11月3日には、日ごろからソロ活動をしていらっしゃる手島由紀子さん(30期声楽)と細川裕美子さん(23期ピアノ)がお二人でコンサート「Bon appetit」(東神奈川かなつくホール)を開催します。卒業後地元を離れてここ関東の地で再会、あるいは新たに出会った同窓生たちが、懐かしさや親しい思いを胸に共演しています。支部の運営に参加するメンバーも少しずつ年齢の幅を広げてきました。常に全体を見守ってまとめてくださる事務局青谷哲也さん(15期声楽)を中心に、30期前後の会員が加わり役を分け合って進めています。年に一度発行している支部便りHarmonyもリニューアルし、若いアイデアや幅広い会員の声を拾い上げたいという新しい動きが見られます。音楽会という形の同窓会という一面が見受けられる関東支部の定期演奏会……12回目の今年は11月29日文京シビックホールにて開催予定です。声楽1期の熊谷房子さん、トレ・カンパーネ女声合唱団は初回から皆勤!「いつまでもしゃんとして歌い続けたい」「ずっと夢を持って生活しなくちゃ」とわが大先輩方は驚くほどポジティブです。支部長島津與外次さん(5期声楽)、副支部長坪井フミ子さん(8期声楽)も自ら若手の会員を巻き込んでご出演。

それぞれ研鑽を積み続けている中堅の面々に新入会初出演の高橋律子さん(34期ピアノ)も加わって多彩なプログラムとなりそうです。

曾我 尚江 (27期ピアノ)

京都支部

今年も11名の新しい支部会員を迎え、京都支部も益々活性化して参りました。

5月13日(日)京都府立府民ホールアルティに於いて第24回プロムナードコンサートが大勢のご来聴の皆様を迎えて開催されました。プログラムはフランスとロシアの作曲家を軸として、又出演者は幅広い層から。京都支部の層の厚さとレベルの高さを改めて実感出来る機会でした。

今回は、2008年5月18日(日)に、第25回記念プロムナードコンサート(支部設立20周年記念)を京都コンサートホール・ムラタホールに於いて開催決定。プログラム等詳細につきましては、順次真声会京都支部ホームページ(http://shinseikai-kyoto.com/)に掲載させていただきます。随時アクセス頂きご確認下さいます様、又大勢の皆様のご来聴を心よりお願い申し上げます。

9月2日(日)ウイズ・ユーに於いて本年度の総会が開催されました。総会に引き続き、名誉教授の岩崎勇先生から、大学が岡崎から大枝杏掛へ紆余曲折を経て移転した経緯をご苦労談も交えて伺わせて頂きました。それに纏わるエピソードをひとつ!

現在の杏掛キャンパスの敷石が、かつて京都の街を走っていた市電が廃止された時にそれに伴って撤去された軌道に敷き詰められていた石であったとは! 聴衆からは思わず感嘆の声が漏れました。その後、昼食を共に懇親会へ。皆がそれぞれ発言し楽しく盛り上がった一日でした。

尚、この11月1日には「真声会京都支部報第23号」及び「2007年度真声会京都支部会員名簿」を発行。会員相互の交流が更に深まっていく事を願っています。

最後に、役員の移動を報告させていただきます。長年に亘って御尽力頂きました岩田宗一氏(6期声楽)が支部長から名誉支部長に。それに伴い、阪田誠康(16期ピアノ)が支部長を務めさせて頂く事になりました。役員をはじめ会員の皆様に支えられながら一步一步前進を目指したいと思えます。

支部長 阪田 誠康 (16期ピアノ)

大阪支部

久しぶりのプロムナードコンサートは、4月の門真市に続いて8月26日(日)午後5時、河内長野市ラプリーホールのホワイエで開かれました。

出演は、中島慈子(10期声楽)を中心に、田淵幸三(14期ピアノ)、五嶋利恵(41期ピアノ)、稲葉万姫(41期オーボエ)、蒲生絢子(49期ホルン)、石若雅弥(50期作曲)、それに、石若作品を演奏するEnsemble Daffodil(16名)と指揮の寺尾正先生、ピアニストの榎原聡子さんのご協力も得ました。

プログラムも盛り沢山で、アンコールでは聴衆の方々と一緒に「ふるさと」を大合唱、熱気溢れる楽しいコンサートとなり、定員150名のところ170余名の来場と大盛況でした。入場料1000円。

その頃、そごう劇場から開店2周年記念クラシックコンサートの協力依頼があり、急遽、前記のコンサート内容をアレンジして出演しました(9月7,8日2回公演、企画・制作=真声会大阪支部)。題して、「音楽の花束」~さわやかなクラシック音楽が秋風をはこぶ...。出演は、蒲生から小林千恵(41期ピアノ)に代わり、プログラムも、ピアノ連弾に始まり、ソプラノとオーボエとピアノ、ピアノソロ、オーボエソロ、日本の歌、最後は連弾でガーシュウインのラブソディー・イン・ブルーで締めくくると言う1時間半のプログラム

で、2日間で400余名(キャパ250)のお客さまから喝采を浴びました。

「プリリアント・コンサート2008」は、2月24日(日)午後2時から、ザ・フェニックスホールで開催予定、「ビーバ!アンサンブル」とタイトルして各種のアンサンブルでプログラミングします。

支部総会は、7月8日(日)午前11時半から、ホテルグランヴィア大阪の「北京」で開かれ、昼食をはさんで和気藹々と和やかな会となりました。

一年のまとめとして、プリリアントコンサート2006開催、支部報発行3回、世話役会6回、事業企画部会1回、大阪支部後援名義使用許可公演6件。あと、会計報告、監査報告、次のコンサートについてなど自由に話し合いました。

新しい企画として、「大村さんのお話を聞く会」を11月10日(土)午後5時、梅田新道・蜂の巣サロンにて開催、テーマ「ヨーロッパ、中近東における古代民族文化の変遷について」=ペルシャ文明、ミノア文明、ギリシャ文明、エジプト文明などについて、現地で撮られた多くの写真を拝見しながら体験談を伺います。

大阪支部に関するお問い合わせ・入会は、事務局545-0004大阪市阿倍野区文の里4の12の25樋口博行(27期ピアノ)方、電話とファクス06-6624-3425まで。(文中敬称略) 金森 重裕(6期クラリネット)

奈良支部

奈良支部は、さる5月19日(土)に第8回サロン・コンサートと平成19年度総会を同日実施致しました。会場は「やまと郡山城ホール」レセプションルーム(地下大広間)で、100脚余り並べた椅子は満席になり3時に開演、菊田義典(42期声楽)実行委員長の司会進行により、盛会に終わりました。(プログラムは前号に記載)引き続いての総会は、人数分(24名)の椅子を円形に並べ、全員を顔を見合わせてユニークな雰囲気のととなりました。(議長:藤村久美子16期ピアノ)その後ティールームにて歓談のひと時を過ごし、5時ごろより役員のみ会議室に移動して、秋の演奏会の打ち合わせを致しました。

第11回定期演奏会(実行委員長:横井真紀31期オーボエ)

平成19年11月17日(土)17:00開演

会場:秋篠音楽堂(奈良市西大寺・奈良ファミリー6F・近鉄西大寺駅)

出演者

♪バロック・アンサンブル

竹吉さやか(33期ヴァイオリン)他3名客演

(井上佳代・中出悦子・森佐介)

♪室内楽:横井真紀(31期オーボエ) 西園真理(31期ヴァイオリン)

小川純子(21期ピアノ)

♪ヴァイオリン独奏:若谷陽子(49期ヴァイオリン) 山口梨紗(50期ピアノ)

♪ピアノ独奏 3ステージ:浦前華名(49期ピアノ)

玉井幸子(28期ピアノ)

岩谷寿美子(30期ピアノ)

演奏会終了後、隣接の「桃谷楼」にて懇親会を予定しております。

本年8月現在、奈良支部会員は56名(会費納入者)と少数ですが、京都芸大音楽学部卒業の音楽家として、個性豊かな優秀な人が多く、演奏家、教育者、または楽団員、その他種々のお立場で熱心に活動しておられます。

支部報「NARA通信」は、諸々の記録と会員相互の連絡手段として年に3回、今年9月に第56号を発行致しました。山口暁子さん(42期ピアノ)は、演奏家としてご多忙の中、毎回しっかり編集して下さいます。県外在住者への発送のみならず、真声会本部や他支部にもお送りして、情報交換をすすめていくべきではないかと考えております。

支部長 三村 光子(4期ピアノ)

真声会本部からのお知らせ

- \*真声会拡大運営委員会で、真声会ホームページ開設に向けて討議を始めました。
- \*「4年で100人紹介」と題しまして、できるだけたくさんの方々の活動や近況をお知らせします。皆様のところに活動紹介の原稿依頼がありましたら、ぜひ、よろしく願いいたします。
- \*後援名義使用の演奏会のチラシができましたら、真声会宛にお送りください。今後、会員の演奏会の宣伝に役立てられたらと思います。

訂正 今夏送付されました52期生追簿に記載の会員番号は学生証番号となっていました。次回名簿発行時に正しい会員番号を掲載いたしますので、ご了承ください。



# 京芸だより

## ～定期演奏会をぜひ聴きにいらしてください～

来る12月8日(土)午後7時より、京都市立芸術大学音楽学部第127回定期演奏会が京都コンサートホール大ホールにて行われます。  
 今回はフランス近代音楽の精華を秋山和慶指揮でお楽しみいただきます。ドビュッシーの牧神の午後への前奏曲に始まりプーランクのグロージャを経て、締めくくりにサン＝サーンス交響曲第3番作品78[オルガン]では三森尚子(26期ピアノ)前真声会運営委員のオルガンにより在校生と卒業生のコラボレーションでお送りいたします。  
 卒業生の皆様、ぜひ在学生の演奏をお聴きください。真声会の会員の皆様は、無料でご入場いただけます。会場受付にて卒業・修了期、専攻、お名前をお知らせください。ご来場をこころよりお待ちしております。

響ノ都プロジェクト  
 京芸ルネッサンス2007・コンサートシリーズ  
 グランドコンサートシリーズ

### ●京都市立芸術大学音楽学部 第127回定期演奏会

日時：平成19年12月8日(土)  
 午後7時開演(午後6時開場)  
 会場：京都コンサートホール・大ホール  
 地下鉄烏丸線北山駅下車1番出口すぐ  
 曲目：ドビュッシー、クロード／牧神の午後への前奏曲  
 プーランク／「グロージャ」  
 サン＝サーンス、カミーユ／  
 交響曲 第3番 ハ短調 作品78「オルガン」

出演：指揮 秋山 和慶  
 オルガン 三森 尚子  
 管弦楽 京都市立芸術大学音楽学部管弦楽団  
 合唱 京都市立芸術大学音楽学部合唱団  
 入場料： ¥1200  
 主催：京都市立芸術大学

詳細お問い合わせは京都市立芸術大学 教務課 075-334-2222  
 WEBマガジン「沓音」 <http://w3.kcua.ac.jp/calliope/kutsuoto/>

今年度、常森壽子先生が3月に定年退任、福島明也先生が退任され、音楽学部には新任の教員をおふたりお迎えしています。共に声楽専攻で、前期より谷村由美子先生が専任講師として、後期より折江忠道先生が准教授として加わられています。  
 谷村先生は本学卒業生で、学部の第42期生、大学院の第12期生です。次号におふたりの研究室訪問を掲載させていただきます。ご期待ください。

### 京芸音楽学部学生による演奏旅行のご報告

真声会のご協力、資金援助を頂き、先輩方が昔から続けてこられた演奏旅行を今年も無事終える事が出来たのでお礼とご報告を致します。

今年9月18日から3泊4日で和歌山県に行っていました。音楽学部の3分の1にあたる約80名が、オーケストラと合唱のメンバーとして参加し、9つの小・中学校を巡り、合同公演を含め18校の皆様へ演奏を聴いていただきました。また、一般公演として9月23日(日)ウェスティで、京都公演を行いました。曲目は、「ウィリアムテル序曲」、「乾杯の歌」、「カルメン組曲」、「軽騎兵序曲」、「ラデツキー行進曲」、「ニルンベルグのマイスターズジグ」等々。学校公演では、楽器紹介や指揮体験コーナー、ジブリメドレーなどを挟んで、最後に各学校の校歌と「世界にひとつだけの花」をオーケストラ伴奏で歌ってもらい締めくくりました。

昨年度2月から、現在3回生の実行委員5人を中心に企画をはじめました。プロのオーケストラのないところで、距離的にも好ましく、ここ数年訪れていない和歌山県に決め、地域を決めて早速各小中学校、計600校に学校公演のお願いの手紙を送りました。当初この活動の認知度が低かったり、趣旨を理解してもらえなかったりと、反応は鈍かった

ですが、何度かお電話してお話を聞いていただいたところ、公演先として受け入れてくださる学校がちらほら出てきて、最終的に9つの学校から快い返事をいただく事ができました。そこからは、バス・トラックの手配、日程の調整、楽譜の準備、宿舎の手配、参加者を集めること、大学への報告など様々な事務的な仕事があり、委員5人授業や試験の合間をぬっての作業は、本当に、想像をはるかに超えるハードさでした。先輩方が続けてこられた、この行事。生徒がコンサートを企画・実施するという作業がどれだけ大変か痛感しました。しかし、演奏旅行が実行できたのは実行委員だけでなく、参加者全員が『いい思い出にしたい。いい演奏旅行にしたい』という熱い思いを持ち続けていたからこそです。

実際の演奏旅行は子どもたちに音楽の喜び・楽しみを知ってもらい、クラシックやオーケストラをより身近に感じてもらう、そして、われわれ学生にとってはレパートリーの拡大、短期間で曲の仕上げ、アンサンブル技術の向上、学生同士の団結、といった目的をもって演奏旅行を実施しています。

旅行では、子どもたちの素直な反応や楽しそうな表情を見ることもでき、私どもも演奏をする楽しさや、音楽の素晴らしさを再認識する事

ができました。今回公演した数々の学校から、お礼の手紙、児童の感想が寄せられたのですが、「それぞれの楽器を初めて知る事ができた」「音楽が好きになった」「私はいつか〇〇(楽器)を弾きたい」「また来てほしい、もう一度ききたい」など、とても嬉しい言葉が綴られており、どの公演もとても喜んで頂けたようです。またここ数年、プレゼントとしてオーケストラ伴奏の校歌を録音し各学校にお渡ししているのですが、今年も実施いたしました所、そちらも大変喜んでいただけました。

大学生において、日ごろはオーケストラの授業を人数の関係で乗る事の出来ない下級生の管・打楽器生。彼らのアンサンブル技術の向上はもちろん、弦楽器もアンサンブルをどのようにしていくか、この演奏旅行を通して目的は大きく達成しました。その他、各自おのおの目的は成す事ができたと思います。

そして、この度の一般公演はウェスティで公演する事が出来たのですが、実は4月当初、会場費などもあり、外部での会場が見つからず、大変困っていたのです。そんな折に、ウェスティさん方が声をかけてくださり、ご好意によって公演する事ができました。和歌山県だけでなく、いつも支えて下さっている京都市民の皆様に向けて公演が出来たこと、ホールで弾くという、体育館とはまた違った緊張感をこの演奏旅行のメンバーで感じる事が出来た

ことはとても意義のあった事だと思えます。実行委員で宣伝を大きくした事もあり、当日来場者は約240人にもものぼりました。(毎日新聞9月15日朝刊・京都欄地域ニュース第3ページに演奏旅行の記事を掲載していただきました)

今回は、このような体制になってから、実質3回目の旅行となったのですが、(一昨年は京都のみの公演だった為)、学校や先生方・先輩方、真声会、教育後援会等のご協力のおかげで、ほぼ体制が整い、今年また発展に向け大きく一歩踏み出しました。

学生が自主的に行っている演奏旅行ではありますが、国公立の独立行政法人化が進む中、学校にとっても、知名度を高めたり、地域に貢献するという点でとても有意義な行事になっています。まだまだ解決しなくてはならない問題は多くありますが、公演先での喜びの声を大切に、お互い協力し合って長年続けている伝統をこれからも守っていかなくてはと考えております。

最後になりましたが、毎年快く演奏旅行に協力、資金援助してくださっている真声会、諸先輩の方々に、在学生を代表して心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

今後もご支援、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

2007年度京都市立芸術大学  
 演奏旅行実行委員長  
 朴 梨恵 (3回生 弦楽)

真声会会員のコンクール等受賞者

- 第18回奏楽堂日本歌曲コンクール (平成19年5月27日 東京都 旧東京音楽学校 奏楽堂) 作曲部門 中田喜直賞の部 優秀賞  
修士2回生 作曲専攻 長谷川 結花
- 第19回宝塚ベガ音楽コンクール (平成19年6月24日 兵庫県宝塚市 ベガホール) 第2位  
平成19年3月 ピアノ専攻卒 川原 慎太郎
- 第19回宝塚ベガ音楽コンクール (平成19年6月24日 兵庫県宝塚市 ベガホール) 第3位  
4回生 ピアノ専攻 真隅 政大
- 第19回宝塚ベガ音楽コンクール (平成19年6月24日 兵庫県宝塚市 ベガホール) 第5位  
4回生 ピアノ専攻 東山 洸雅
- 第19回宝塚ベガ音楽コンクール (平成19年6月24日 兵庫県宝塚市 ベガホール) 第3位  
平成16年3月 大学院 (声楽専攻) 卒 清水 徹太郎 (テノール)
- 第19回宝塚ベガ音楽コンクール (平成19年6月24日 兵庫県宝塚市 ベガホール) 第4位  
平成11年3月 声楽専攻卒 佐藤 路子 (ソプラノ)
- 第19回宝塚ベガ音楽コンクール (平成19年6月24日 兵庫県宝塚市 ベガホール) 第6位  
平成16年3月 大学院 (声楽専攻) 卒 竹内 直紀 (テノール)
- 第18回奏楽堂日本歌曲コンクール (東京都 旧東京音楽学校 奏楽堂) 作曲部門一般の部 第3位  
修士2回生 作曲専攻 植松 さやか
- ピティナ・ピアノコンペティション特級地区本選 (PTNA (全日本ピアノ) 指導者協会主催)  
(平成19年8月1日 たづくりくすのきホール (調布市)) 優秀賞 (全国決勝大会出場権)  
平成19年3月 ピアノ専攻卒 川原 慎太郎
- 第6回かずさアカデミア音楽コンクール (平成19年7月22日 かずさアカデミアホール (木更津市)) オーケストラとの協演 第1位  
平成19年3月 ピアノ専攻卒 類家 唯
- 第20回和歌山音楽コンクール (平成19年8月22日 和歌山市民会館 和歌山市) 第2位 (大学生等の部)  
3回生 声楽専攻 向井 悠

真声会後援の演奏会

【これから開催される演奏会】

♪佐藤裕美子ピアノリサイタル

出演: 佐藤裕美子 (39期Pf)  
 曲目: グリーク: バラードOp.24 《ノルウェー民謡による変奏曲》  
 ベートーヴェン: ピアノソナタ第32番ハ短調Op.111  
 シマノフスキ: シェエラザード 《仮面劇》 Op.34より  
 リスト: ペートルカのソネット第123番  
 《巡礼の年 第2年 イタリア》より 他

日時: 2007年12月13日 (木) 19:00  
 会場: 兵庫県立芸術文化センター小ホール

♪パーカッションアンサンブルコンサート

～兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業生有志による～  
 出演: 三宮郁子 (50期Per)・安田法子 (現4回生Per) 他  
 曲目: ロサウロ: マリンバソロと打楽器のためのコンチェルト 第1番  
 パヴァッサ: スカルプチャー・イン・ウッド  
 樽屋雅徳: 5人の打楽器奏者のための光の隙間 他

日時: 2008年4月4日 (金) 19:00  
 会場: 兵庫県立芸術文化センター小ホール

【既に開催された演奏会】

♪ドヴォルザークとブラームスのタペ

～クラリネット・弦楽器・ピアノによる～  
 (財) 青山財団助成公演  
 出演: 柳楽由美子 (38期Cl)・宮崎友香子 (38期Pf) 他  
 曲目: ブラームス: クラリネットソナタ第2番、クラリネット五重奏曲  
 ドヴォルザーク: ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ、  
 ヴァイオリンとピアノのためのロマンス

日時: 2007年11月10日 (土) 18:30  
 会場: 青山音楽記念館バロックザール

♪真声会奈良支部 秋の定期演奏会

出演: 西園真理 (31期VI)・横井真紀 (31期Ob)・小川純子 (21期Pf)  
 岩谷寿美子 (30期Pf)・玉井幸子 (28期Pf)・竹吉さやか (33期VI)  
 浦前華名 (49期Pf)・若谷陽子 (49期VI)・山口梨沙 (50期Pf)  
 曲目: テレマン: トリオソナタ ト短調  
 ラヴェル: 《水の戯れ》  
 ドビュッシー: 《版画》  
 シューマン: ピアノソナタ作品141楽章  
 フランク: ヴァイオリンソナタ 1, 2楽章 他

日時: 2007年11月17日 (土) 17:00  
 会場: 秋篠音楽堂

♪林澄子ピアノリサイタル

出演: 林澄子 (39期Pf)  
 曲目: ベートーヴェン: 《エリーゼのために》、  
 ピアノソナタ第14番嬰ハ短調 《月光》  
 ドビュッシー: 《月の光》《亜麻色の髪の乙女》

リスト: 《愛の夢》  
 ショパン: ノクターン嬰ハ短調 (遺作)、  
 バラード第3番、《幻想即興曲》 他  
 日時: 2007年11月18日 (日) 14:00/11月22日 (木) 19:00 (松山公演)  
 会場: 西予市宇和文化会館/松山市民会館中ホール

♪Group Reed Autumn Concert vol.2

出演: 松村佳奈 (31期Pf)・康瑛 (31期Vo)・宮北昌子 (31期Pf)  
 曲目: ドビュッシー: 《ベルガマスク組曲》  
 J. シュトラウス: 《こうもり》より

「侯爵さま、あなたのような方は」  
 リスト: パガニーニによる大練習曲第3番 《ラ・カンパネラ》 他  
 日時: 2007年11月18日 (日) 15:00  
 会場: ムラマツリサイタルホール新大阪

♪ソロピアノ

出演: 山下由香 (26期Pf)  
 曲目: バッハ: パルティータ第2番  
 ベートーヴェン: ピアノソナタ第17番 《テンペスト》  
 ショパン: バラード第2番  
 スクリャーピン: ソナタ第4番 他

日時: 2007年11月18日 (日) 15:00  
 会場: 音楽空間ネイヴ

♪イェルク・デームス 田中裕子 ピアノジョイントリサイタル

出演: 田中裕子 (32期Pf)・イェルク・デームス  
 曲目: モーツァルト: ピアノソナタ イ長調  
 シューベルト: 4手のための幻想曲 ヘ短調  
 ショパン: ノクターン 嬰ハ長調  
 ドビュッシー: 《水の反映》《葉の間より洩れる鐘の音》《雨の庭》 他

日時: 2007年11月19日 (月) 19:00  
 会場: サンポートホール高松 第1小ホール

♪バロックヴァイオリンの新しい風

(アンサンブル福岡バロック 第1回コンサート)  
 出演: 河内知子 (35期VI)  
 曲目: ルクレール: レクリエーションミュージック 第2番  
 パーセル: トリオソナタ 第8番、第9番  
 フォンタナ: トリオソナタ 第7番 他

日時: 2007年11月30日 (金) 19:00  
 会場: 桜坂セントマルティーン教会

♪船橋美穂ピアノアンサンブルシリーズVol.9

～森悠子率いる長岡京室内アンサンブルの精鋭女性メンバーとともに～  
 出演: 船橋美穂 (25期Pf)  
 森悠子 (VI)・谷本華子 (VI)・山本由美子 (Va)・五味敬子 (49期Vc)  
 曲目: モーツァルト: ピアノ協奏曲第12番イ長調K. 385p (414)  
 クララ・シューマン: ピアノ三重奏曲ト短調Op.17  
 フランク: ピアノ五重奏曲ヘ短調

日時: 2007年12月1日 (土) 15:00  
 会場: 京都府民ホールアルティ

※演奏会の真声会後援および会報掲載は会費納入者のみとさせて頂いております。どうぞご了承ください。

編集後記

数ヶ月前まで、自分が真声会の役員になるうとは、まったく想像していませんでした。あれよあれよという間に編集委員に名前が入り、気がつけば会報準備に走り回っていました。自分の仕事の合間を縫っての作業は大変でしたが、実際に印刷された原稿を見た時は感動しました。今後、編集委員の目標として、読みやすい会報、意義深い会報を目指し、頑張ります。初めて真声会に関わりましたが、これまでわからなかったことや、知らなかったことが少しずつ見えてきました。真声会は、より透明度を増し、より風通しよく、より良い組織を目指し、会員の皆様に、真声会の活動が少しでも多く伝わるように、会報が役立てられたらと思います。素晴らしい先輩方と出会い、役員の方々に恵まれたことに感謝し、4年の任期を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。(O)